

この一覧表は，年間指導計画の作成に必要な下記の内容について記載しています。生徒の学習状況に合わせて，年間指導計画を作成する際にお役立てください。

①分野

「絵画・彫刻」「デザイン」「映像メディア表現」の分類を示しています。

領域

「表現中心の題材」「鑑賞中心の題材」の分類を示しています。

②題材名

教科書のページ数，題材名を掲載しています。

③学習活動

各題材の学習活動の流れを示しています。

④目標

各題材の目標を記載しています。教科書掲載の目標と同じものです。

⑤観点別評価規準例

表現中心の題材では3観点，6項目の評価規準例を，鑑賞中心の題材では3観点，3項目の評価規準例を掲載しています。

記載しているのはそれぞれ「概ね満足できる状況」(B)の評価規準です。省略した表記はそれぞれ次のとおりです。

(知) = 「知識・技能」の知識に関する評価規準

(技) = 「知識・技能」の技能に関する評価規準

(発) = 「思考・判断・表現」の発想や構想に関する評価規準

(鑑) = 「思考・判断・表現」の鑑賞に関する評価規準

(態表) = 表現の「主体的に学習に取り組む態度」に関する評価規準

(態鑑) = 鑑賞の「主体的に学習に取り組む態度」に関する評価規準

⑥学習指導要領との関連

平成30年告示の学習指導要領との関連を示しています。

分野 領域	題材名	学習活動	目標	観点別評価規準例						学習指導要領との関連	
				知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		※〔共通事項〕(1)アイは，以下の全ての題材で育成する資質・能力である。	
				知識(知)	技能(技)	発想・構想(発)	鑑賞(鑑)	表現(態表)	鑑賞(態鑑)	A表現	B鑑賞
絵画・彫刻	P.6～9 身近なものを描く	○身近なものを描くことに関心をもち，身近なものを見つめ感じ取った特徴や，ものに対する自分の思いなどから主題を生成する。 ○主題をもとに，形や色，用具の使い方などの構想を練る。 ○構図や色などを工夫し，用具の特性を生かして制作する。 ○完成作品を鑑賞し合い，意図や工夫を感じ取り，話し合う。	身近にあるものを見つめ直し，描く方法や材料を工夫してあらわす。	形や色，質感などが感情にもたらす効果や，造形的な特徴などをもとに，身近なものやそれらを描いた作品を，全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。	意図に応じて材料や用具の特性を生かすとともに，色や質感などの表現を工夫し，主題を追求して創造的にあらわしている。	身近なものを見つめ，感じ取った特徴やものに対する自分の思いなどから主題を生成し，形や色，構図，材料や用具の特性などについて考え，創造的な表現の構想を練っている。	身近なものを描いた作品の造形的なよさや美しさを感じ取り，作者の心遣いや表現の意図と工夫などについて考え，見方や感じ方を深めている。	主体的に身近なものを見つめ，感じ取った特徴やものに対する自分の思いなどをもとにした表現の創造活動に取り組もうとしている。	主体的に身近なものを描いた作品の造形的なよさや美しさを感じ取り，作者の思いなどについて考える鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。	(1)ア(ア)(イ) イ(ア)(イ)	(1)ア(ア) イ(ア)

「美術1」 題材内容一覧，観点別評価規準例

内容解説資料

分野	領域	題材名	学習活動	目標	観点別評価規準例					学習指導要領との関連			
					知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		A表現	B鑑賞	
					知識(知)	技能(技)	発想・構想(発)	鑑賞(鑑)	表現(態表)	鑑賞(態鑑)			
絵画・彫刻	表現中心	P6～9 身近なものを描く	○身近なものを描くことに関心をもち、身近なものを見つめ感じ取った特徴や、ものに対する自分の思いなどから主題を生成する。 ○主題をもとに、形や色、用具の使い方などの構想を練る。 ○構図や色などを工夫し、用具の特性を生かして制作する。 ○完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り、話し合う。	身近にあるものを見つめ直し、描く方法や材料を工夫してあらわす。	形や色、質感などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などをもとに、身近なものやそれらを描いた作品を、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。	意図に応じて材料や用具の特性を生かすとともに、色や質感などの表現を工夫し、主題を追求して創造的にあらわしている。	身近なものを見つめ、感じ取った特徴やものに対する自分の思いなどから主題を生成し、形や色、構図、材料や用具の特性などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。	身近なものを描いた作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。	主体的に身近なものを見つめ、感じ取った特徴やものに対する自分の思いなどをもとにした表現の創造活動に取り組もうとしている。	主体的に身近なものを描いた作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の思いなどについて考える鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。	(1)ア(ア)(イ) イ(ア)(イ)	(1)ア(ア) イ(ア)	
		鑑賞中心	P10～11 [比べて鑑賞する] 柵や点で描く	○画面を方眼に区切って描いた作品と、点描で描いた作品とを比較して鑑賞し、違いや共通点などを感じ取る。 ○感じたことや考えたことを話し合い、他者の考えに関心をもち、作品の見方や感じ方を深める。	柵や点で構成された作品を比較して鑑賞し、それぞれのよさを感じ取る。	形や色などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などをもとに、柵や点で構成された作品を、全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解している。		柵や点で構成された作品の造形的なよさや美しさを感じ取るとともに、日本美術と西洋美術とを比較し、それぞれの創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。		主体的に柵や点で構成された作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、日本美術と西洋美術それぞれの創造的な表現の工夫などについて考える鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。			(1)ア(ア) イ(イ)
			P12～14, 19 墨で描く	○墨による多様な表現に関心をもち、墨ならではの効果などから主題を生成する。 ○主題をもとに、墨の特性を生かして構想を練る。 ○墨の表現や余白の生かし方などを工夫して制作する。 ○完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り、話し合う。	墨による表現の豊かさを感じ取り、墨の特性を生かして作品を描く。	墨の性質や筆致の勢いなどが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などをもとに、墨で描かれた作品を、全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解している。	意図に応じて墨や筆の特性を生かすとともに、表現方法を工夫して創造的にあらわしている。	墨による表現のさまざまな効果などから主題を生成し、墨の特性を生かした表現方法などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。	墨のにじみや濃淡による表現の豊かなよさや美しさを感じ取り、作者の表現の意図や工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。	主体的に墨ならではの効果などを追求して、表現の創造活動に取り組もうとしている。	主体的に墨の表現による作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の表現の意図などについて考える鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。	(1)ア(ア)(イ) イ(ア)(イ)	(1)ア(ア) イ(イ)
	鑑賞中心	P15～18 絵巻物を楽しむ	○「鳥獣人物戯画 甲巻」を鑑賞し、絵巻物ならではの表現に関心をもち、そのよさを感じ取る。 ○感じたことや考えたことを話し合い、他者の考えに関心をもち、作品の見方や感じ方を深める。	「鳥獣人物戯画 甲巻」を鑑賞し、絵巻物の表現のおもしろさや工夫を感じ取る。	形や墨の質感などが感情にもたらす効果や、時間表現の構成の工夫などの造形的な特徴などをもとに、絵巻物を、全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解している。		時間の流れを表現した絵巻物から描写のユーモアや構成の工夫、創造性などを感じ取り、絵巻物ならではの表現の工夫、日本の美術の歴史や表現の特質などについて考え、見方や感じ方を深めている。		主体的に絵巻物から表現の工夫や創造性などを感じ取り、絵巻物ならではの表現の工夫、日本の美術の歴史や表現の特質などについて考える鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。			(1)ア(ア) イ(イ)	
		P20～21 [作家の生涯と作品] 葛飾北斎	○北斎の生涯と作品に関心をもち、浮世絵版画や絵手本、肉筆画などで活躍した北斎の表現の豊かさを感じ取る。 ○感じたことや考えたことを話し合い、他者の考えに関心をもち、作家や作品の見方や感じ方を深める。	北斎の生涯や作品を知り、表現の豊かさやおもしろさを感じ取る。	形や色、材料などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などをもとに、北斎が描いた作品を、全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解している。		浮世絵版画や絵手本、肉筆画の造形的なよさや美しさを、比較しながら感じ取るとともに、北斎の生涯や、創造的な表現の工夫などについて考え、日本の美術文化について見方や感じ方を深めている。		主体的に北斎の作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、創造的な表現の工夫などについて考える鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。			(1)ア(ア) イ(イ)	
	表現中心	P22～25 風景を描く	○心ひかれる風景をあらわすことに関心をもち、風景から感じ取ったことや、自分の思いなどから主題を生成する。 ○主題をもとに、形や色、構図などの構想を練る。 ○光や陰影、奥行きなどの表現などを工夫して制作する。 ○完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り、話し合う。	心ひかれる風景を、光を意識したり、構図を考えたりしながら工夫してあらわす。	形や色、材料、光などが感情にもたらす効果や、光や陰影、奥行きなどの造形的な特徴などをもとに、風景や風景を描いた作品を、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。	意図に応じて材料や用具を選択し、その特性を生かすとともに、表現を工夫し、主題を追求して創造的にあらわしている。	心ひかれる風景を見つめ感じ取ったことや、その風景に対する自分の思いなどから主題を生成し、形や色、光や陰影、構図や奥行きなどについて考え、創造的な表現の構想を練っている。	描かれている風景の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者が作品に込めた思いや意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。	主体的に心ひかれる風景を見つめ、感じ取った特徴や風景に対する自分の思いなどをもとにした表現の創造活動に取り組もうとしている。	主体的に風景を描いた作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の意図や作品に込められた思いなどについて考える鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。	(1)ア(ア)(イ) イ(ア)(イ)	(1)ア(ア) イ(ア)(イ)	
		P26～29 想像した世界を描く	○想像した世界をあらわすことに関心をもち、現実にはない不思議なことを想像することから主題を生成する。 ○主題をもとに、形や色、構図などの構想を練る。 ○あらわしたいイメージをもとに、材料や表現方法を工夫して制作する。 ○完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り、話し合う。	心に浮かんだイメージをもとに発想を広げ、夢や想像の世界をあらわす。	形や色などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などをもとに、想像した世界を描いた作品を、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。	意図に応じて材料や用具の特性を生かすとともに、形や色、構図などの表現を工夫し、主題を追求して創造的にあらわしている。	夢や想像、自己を見つめて感じ取ったことや考えたことなどから主題を生成し、形や色、構図などについて考え、イメージや作風などについて創造的な表現の構想を練っている。	想像した世界を描いた作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。	主体的に夢や想像、自己を見つめ感じ取ったことや考えたことなどをもとにした表現の創造活動に取り組もうとしている。	主体的に想像した世界を描いた作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の意図や作品に込められた思いなどについて考える鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。	(1)ア(ア)(イ) イ(ア)(イ)	(1)ア(ア) イ(イ)	
		鑑賞中心	P30～31 [比べて鑑賞する] 組み合わせる	○野菜や果物などを組み合わせた作品と、人物を組み合わせた作品とを比較して鑑賞し、違いや共通点などを感じ取る。 ○感じたことや考えたことを話し合い、他者の考えに関心をもち、作品の見方や感じ方を深める。	組み合わせで構成した作品を比較し、それぞれのよさを感じ取る。	形や色などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などをもとに、組み合わせで構成した作品を、全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解している。		ものや人物を組み合わせで構成した作品の造形的なよさや美しさを感じ取るとともに、日本美術と西洋美術とを比較し、それぞれの創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。		主体的にものや人物を組み合わせで構成した作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、日本美術と西洋美術の特質を比較し、それぞれの創造的な表現の工夫などについて考える鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。			(1)ア(ア) イ(イ)
	表現中心		P32～35 自己をあらわす (絵画・彫刻)	○絵画や彫刻、写真など、さまざまな方法で自己をあらわすことに関心をもち、自分を見つめ感じ取ったことから主題を生成する。 ○主題をもとに、作品形態や表現方法、用具の使い方などの構想を練る。 ○形や色、材料、光などを工夫し、用具の特性を生かして制作する。 ○完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り、話し合う。	さまざまな作品を鑑賞し、自分自身を工夫してあらわす。	形や色、材料などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などをもとに、自己をあらわした作品を、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。	意図に応じて材料や用具を選択し、その特性を生かすとともに、表現の形態や方法を工夫し、主題を追求して創造的にあらわしている。	自己を見つめ、感じ取ったことや考えたことから主題を生成し、単純化や省略、強調、材料の質感や量感を生かした表現などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。	自己をあらわした作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。	主体的に自己を見つめ感じ取ったことや考えたことをもとにした表現の創造活動に取り組もうとしている。	主体的に自己をあらわした作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の意図や作品に込められた思いなどについて考える鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。	(1)ア(ア)(イ) イ(ア)(イ)	(1)ア(ア)(ウ) イ(イ)
		P32～35 自己をあらわす (映像メディア表現)	○形や色、材料、光などを工夫し、用具の特性を生かして制作する。 ○完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り、話し合う。		形や色、光などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などをもとに、自己をあらわした作品を、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。	意図に応じてカメラ等の用具の特性を生かすとともに、表現方法を工夫し、表現の意図や効果的にあらわしている。	自己を見つめ、感じ取ったことや考えたことから主題を生成し、映像メディアの特性を生かすとともに、色光や構図などの写真表現の視覚的な要素の働きについて考え、創造的な表現の構想を練っている。	自己をあらわした映像メディア表現の特質や表現効果などを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。	主体的に自己を見つめ、感じ取ったことや考えたことをもとにした表現の創造活動に取り組もうとしている。	主体的に自己をあらわした映像メディア表現の特質や表現効果などを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考える鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。	(3)ア(ア)(イ) イ(ア)(イ)		
鑑賞中心	P36～37 仏像の美	○「四天王立像」を鑑賞し、作品に込められた思いや願いを感じ取る。 ○感じたことや考えたことを話し合い、他者の考えに関心をもち、作品の見方や感じ方を深める。	表情など細部を鑑賞し、作品に込められた人々の思いや願いを感じ取る。	形や色、材料、光などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などをもとに、4体の仏像を、全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解している。		仏像に込められた人々の思いや願いを感じ取り、日本の美術の歴史や表現の特質について考え、見方や感じ方を深めている。		主体的に仏像に込められた人々の思いや願いを感じ取り、日本の美術の歴史や表現の特質について考える鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。			(1)ア(ア) イ(イ)		
	P38～41 生命感をあらわす	○生命感をあらわした作品に関心をもち、身近な人や動物などから感じ取った生命感から主題を生成する。 ○主題をもとに、材料やポーズ、構図などの構想を練る。 ○材料や用具の特性を生かして制作する。 ○完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り、話し合う。	身近な人や動物から感じ取った生命感を、立体感や量感を意識して彫刻であらわす。	形や色、材料、光などが感情にもたらす効果や、量感や質感、動勢などの造形的な特徴などをもとに、生命感をあらわした身近な人や動物の彫刻を、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。	意図に応じて材料や用具の特性を生かすとともに、立体であらわす表現の方法を工夫し、主題を追求して創造的にあらわしている。	人や動物などを見つめて感じ取った生命感などから主題を生成し、材料や用具の特性などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。	生命感をあらわした彫刻の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。	主体的に人や動物などを見つめ、感じ取った生命感をもとにした表現の創造活動に取り組もうとしている。	主体的に生命感をあらわした彫刻の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考える鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。	(1)ア(ア)(イ) イ(ア)(イ)	(1)ア(ア) イ(ア)		

※(共通事項) (1)アイは、以下の全ての題材で育成する資質・能力である。

「美術1」 題材内容一覧，観点別評価規準例

内容解説資料

分野	領域	題材名	学習活動	目標	観点別評価規準例					学習指導要領との関連			
					知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		A表現	B鑑賞	
					知識(知)	技能(技)	発想・構想(発)	鑑賞(鑑)	表現(態表)	鑑賞(態鑑)			
中心	鑑賞中心	P.42～43 場所との対話	○公共の場所に置かれた彫刻に関心をもち、作品を置く環境を意識することから主題を生成する。 ○主題をもとに、形や色、材料などの構想を練る。 ○材料や用具の特性を生かして制作する。 ○完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り、話し合う。	設置する場所や周囲の環境との調和を意識して、彫刻作品をつくる。	形や色、材料、光などが感情にもたらす効果や、量感や質感などの造形的な特徴などをもとに、公共の場所に置かれた彫刻を、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。	意図に応じて材料や用具の特性を生かすとともに、公共の場に置かれる立体の表現を工夫し、主題を追求して創造的にあらわしている。	作品を置く環境との調和やその効果を意識することから主題を生成し、材料の特性を生かして、質感や量感などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。	公共の場所に置かれた彫刻の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の意図や創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。	主体的に作品を置く環境との調和や効果について、感じ取ったことや考えたことをもとにした表現の創造活動に取り組もうとしている。	主体的に公共の場の彫刻の造形的なよさや美しさを感じ取り、作品と場所との関係などについて考える鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。	(1)ア(ア)(イ) イ(ア)(イ)	(1)ア(ア) イ(ア)	
		P.44～47 [作家の生涯と作品] パブロ・ピカソ	○ピカソの生涯と作品に関心をもち、さまざまな作風を変化させながら新たな表現を追求した姿勢を感じ取る。 ○感じたことや考えたことを話し合い、他者の考えに関心をもち、作家や作品の見方や感じ方を深める。	ピカソの生涯や作品を知り、新たな表現を追求する姿勢を感じ取る。	形や色、材料などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などをもとに、ピカソの生涯との関わりから、作品を、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。			ピカソの作品の造形的なよさや美しさを感じ取るとともに、その生涯や心情と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。		主体的にピカソの作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、その生涯や心情と作品との関係などについて考える鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。		(1)ア(ア) イ(イ)	
		P.48～51 メッセージを広く伝える	○メッセージを広く伝えるデザインに関心をもち、メッセージの内容や伝える相手などから主題を生成する。 ○主題をもとに、作品形態や表現方法、配色や構成などの構想を練る。 ○形や色、構成などを工夫して制作する。 ○完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り、話し合う。	伝えたい内容にふさわしい表現方法を考え、多くの人に伝わるようにデザインを工夫する。	形や色、材料、光などが感情にもたらす効果や、配色や構成などの造形的な特徴などをもとに、効果的な伝達のデザインを、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。	意図に応じて材料や用具の特性を生かすとともに、表現方法を工夫し、目的や計画をもとに創造的にあらわしている。	メッセージの内容や伝える相手などから主題を生成し、効果的な表現形態や文字の配置、構成、配色などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。	メッセージを伝えるデザインの方法や機能との調和の取れた洗練された美しさを感じ取り、効果的にメッセージを伝える表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。	主体的にメッセージの内容や伝える相手について考え、効果的に内容を伝えるデザインを工夫する表現の創造活動に取り組もうとしている。	主体的にメッセージを伝えるデザインの目的や機能との調和の取れた美しさを感じ取り、効果的にメッセージを伝える工夫などについて考える鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。		(2)ア(ア)(イ) イ(ア)(イ)	(1)ア(イ) イ(ア)
表現中心	鑑賞中心	P.52～53 マークやサインで伝える	○マークやサインなど、情報をわかりやすく伝えるデザインに関心をもち、伝える内容や相手などから主題を生成する。 ○主題をもとに、形や色、構成などの構想を練る。 ○形や色、構成などを工夫して制作する。 ○完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り、話し合う。	伝えたい情報を整理し、印象に残るシンボルマークや、使用する場所や目的にあったサインをデザインする。	形や色などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などをもとに、わかりやすく効果的な伝達のデザインを、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。	意図に応じて材料や用具の特性を生かすとともに、表現方法を工夫し、目的や計画をもとに創造的にあらわしている。	伝える情報の内容や相手などから主題を生成し、単純化や省略、強調などの効果や、わかりやすさと美しさの調和などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。	情報を伝えるデザインの方法や機能との調和の取れた洗練された美しさを感じ取り、情報をわかりやすく効果的に伝える工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。	主体的に誰に何を伝えるかを考え、わかりやすく効果的なデザインを工夫する表現の創造活動に取り組もうとしている。	主体的に情報を伝えるデザインの目的や機能との調和の取れた美しさを感じ取り、わかりやすく効果的に情報を伝える工夫などについて考える鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。	(2)ア(ア)(イ) イ(ア)(イ)	(1)ア(イ) イ(ア)	
		P.54～57 文様で飾る	○日本や諸外国の文様に関心をもち、動植物やものの形や色の特徴などから主題を生成する。 ○主題をもとに、形や色、構成などの構想を練る。 ○形や色、材料、構成などを工夫して制作する。 ○完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り、話し合う。	日本や諸外国の文様を鑑賞し、表現の工夫や生活との関わりを感じ取り、形や色を考えてデザインする。	形や色、材料などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などをもとに、文様を全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解している。	意図に応じて材料や用具の特性を生かすとともに、表現方法を工夫し、目的や計画をもとに創造的にあらわしている。	動植物やものの形や色の特徴などから主題を生成し、形と色の組み合わせや構成などの効果について考え、創造的な表現の構想を練っている。	日本や諸外国の文様の目的や機能との調和の取れた洗練された美しさを感じ取り、形や色、構成の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。	主体的に動植物やものなどの形や色の特徴を捉え、工夫して文様をデザインする表現の創造活動に取り組もうとしている。	主体的に文様の目的や機能との調和の取れた美しさを感じ取り、形や色、構成の工夫などについて考える鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。		(2)ア(ア)(イ) イ(ア)(イ)	(1)ア(イ) イ(ア)(イ)
		P.58～59 パッケージのデザイン	○パッケージのデザインに関心をもち、包むものや使う目的などから主題を生成する。 ○主題をもとに、形や色、材料、構造などの構想を練る。 ○形や色、材料、構造などを工夫し、見通しをもって制作する。 ○完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り、話し合う。	包むものや使用方法を考え、形や材料を工夫してパッケージをデザインする。	形や色、材料などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などをもとに、パッケージのデザインを、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。	意図に応じて材料や用具の特性を生かすとともに、表現方法を工夫し、目的や計画をもとに創造的にあらわしている。	包むものや使用目的などから主題を生成し、形や色の組み合わせの効果やパッケージの機能などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。	パッケージの目的や機能との調和の取れた洗練された美しさを感じ取り、形や色、構造の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。	主体的に包むものや使用目的に合わせたパッケージのデザインを工夫する表現の創造活動に取り組もうとしている。	主体的にパッケージの目的や機能との調和の取れた美しさを感じ取り、形や色、構造の工夫などについて考える鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。		(2)ア(ア)(イ) イ(ア)(イ)	(1)ア(イ) イ(ア)
鑑賞中心	鑑賞中心	P.60～61 [比べて鑑賞する] スプーン的设计	○スプーン的设计に関心をもち、使う場面や目的による形や材料の違いなどを感じ取る。 ○感じたことや考えたことを話し合い、他者の考えに関心をもち、作品の見方や感じ方を深める。	使う場面や目的によるデザインを工夫を感じる。	形や色、材料、質感などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などをもとに、スプーン的设计を、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。			さまざまなスプーンを比較して、使用する目的や使う人の立場に立った機能との調和の取れた洗練された美しさを感じ取り、形や色、材料、質感の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。		主体的にさまざまなスプーンの比較を通して、目的や機能との調和の取れた美しさを感じ取り、形や色、材料、質感の工夫などについて考える鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。		(1)ア(イ) イ(ア)	
		P.62～63 空間をデザインする	○公共の建築物に関心をもち、図書館を例にデザインが果たす役割や働きを感じ取る。 ○感じたことや考えたことを話し合い、他者の考えに関心をもち、作品の見方や感じ方を深める。	公共の建築物を鑑賞し、デザインが果たす役割や働きについて考えを深める。	形や色、材料、光などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などをもとに、図書館のデザインを、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。			図書館のデザインの方法や機能との調和の取れた洗練された美しさを感じ取り、快適な生活にデザインが果たす役割などについて考え、見方や感じ方を深めている。	主体的に図書館のデザインの方法や機能との調和の取れた美しさを感じ取り、デザインが生活の中で果たす役割などについて考える鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。		(1)ア(イ) イ(ア)		
		P.64～65 [作家の生涯と作品] ル・コルビュジェ	○コルビュジェの生涯と作品に関心をもち、建築への考え方や設計の工夫を感じ取る。 ○感じたことや考えたことを話し合い、他者の考えに関心をもち、作家や作品の見方や感じ方を深める。	コルビュジェの生涯や作品を知り、建築への考え方や設計の工夫を感じる。	形や色、材料、光などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などをもとに、コルビュジェの建築を、全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解している。			コルビュジェの建築の目的や機能との調和の取れた洗練された美しさを感じ取り、作者の採光などの意図や機能性を重視した設計の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。	主体的にコルビュジェの建築物の目的や機能との調和の取れた美しさを感じ取り、設計の工夫などについて考える鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。		(1)ア(イ) イ(ア)		
映像メディア	表現中心	P.66～67 人物を撮影する	○人物を撮影することに関心をもち、身近な人の表情や動き、その人との関係性などから主題を生成する。 ○主題をもとに、視点や構図、光、ポーズなどの構想を練る。 ○カメラ等の用具の特性を生かして制作する。 ○完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り、話し合う。	表情や動きに注目したり、被写体との距離感を意識したりして、身近な人の姿を写真であらわす。	形や色、光などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などをもとに、人物を撮影した写真作品を、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。	意図に応じてカメラ等の用具の特性を生かすとともに、表現方法を工夫し、表現の意図を効果的にあらわしている。	身近な人を見つめ、感じ取ったことや考えたことをもとに、映像メディアの特性を生かして主題を生成し、光や構図、ポーズなどの視覚的な要素の働きについて考え、創造的な表現の構想を練っている。	写真の特質や表現効果などを感じ取り、撮影された人物写真から作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。	主体的に身近な人を見つめ、表情や動き、その人との関係性などについて感じ取ったことや考えたことをもとに写真に表現する表現の創造活動に取り組もうとしている。	主体的に人物を撮影した写真の特質や表現効果などを感じ取り、作者の意図や撮影の際の工夫などについて考える鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。	(3)ア(ア)(イ) イ(ア)(イ)	(1)ア(ウ)	
		P.68～69 [比べて鑑賞する] 人を撮る	○土門拳の作品と植田正治の作品とを比較して鑑賞し、違いやそれぞれの表現の工夫などを感じ取る。 ○感じたことや考えたことを話し合い、他者の考えに関心をもち、作品の見方や感じ方を深める。	撮り方が異なる二人の写真家の作品を鑑賞し、それぞれのよさを感じ取る。	形や光などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などをもとに、人物を撮影した作品を、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。			土門拳と植田正治の作品から、写真の特質や表現効果などを感じ取り、それぞれの作者の意図や被写体の表情、構図などから創造的な表現の工夫について考え、見方や感じ方を深めている。	主体的に人物を撮影した写真の特質や表現効果などを感じ取り、作者の意図や写真表現の工夫などについて考える鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。		(1)ア(ウ)		
		P.70～71 テーマを決めて撮影する	○一つのテーマを決めて撮影することに関心をもち、身近なものを見つめて感じ取ったことや考えたことなどから主題を生成する。 ○主題をもとに、構図や光などの構想を練る。 ○カメラ等の用具の特性を生かして制作する。 ○完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り、話し合う。	一つのテーマを決めて撮影し、シリーズの作品をつくる。	形や色、光などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などをもとに、写真によるシリーズ作品を、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。	意図に応じてカメラ等の用具の特性を生かして、テーマの意図を効果的にあらわしている。	シリーズであらわすことの意味を考え、被写体を見つめて感じ取ったことや考えたことをもとに、映像メディアの特性を生かして主題を生成し、視点や構図、光などの視覚的な要素の働きについて考え、創造的な表現の構想を練っている。	シリーズの写真の特質や表現効果などを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。	主体的に撮影のテーマを探し、被写体を見つめて感じ取ったことや考えたことなどをもとに、写真に表現する創造活動に取り組もうとしている。	主体的にシリーズの写真の特質や表現効果などを感じ取り、作者の意図や視点や構図、光の工夫などについて考える鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。		(3)ア(ア)(イ) イ(ア)(イ)	(1)ア(ウ) イ(ア)

※(共通事項) (1)アイは、以下の全ての題材で育成する資質・能力である。

「美術1」 題材内容一覧，観点別評価規準例

内容解説資料

分野	領域	題材名	学習活動	目標	観点別評価規準例						学習指導要領との関連	
					知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		※（共通事項）（1）アイは、以下の全ての題材で育成する資質・能力である。	
					知識（知）	技能（技）	発想・構想（発）	鑑賞（鑑）	表現（態表）	鑑賞（態鑑）	A表現	B鑑賞
表現	鑑賞中心	P.72～73 写真表現の可能性	○作品を鑑賞し，作者の意図や表現の工夫を感じ取る。 ○感じたことや考えたことを話し合い，他者の考えに関心を持ち，作品の見方や感じ方を深める。	作品を細部まで鑑賞し，作者の表現の意図や工夫を感じ取る。	形や色，光などが感情にもたらす効果や，造形的な特徴などをもとに，写真作品を，全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。			写真作品「99セント」を細部まで鑑賞して，写真という表現の特質や表現効果などを感じ取り，作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え，見方や感じ方を深めている。		主体的に「99セント」を細部まで鑑賞して，写真表現の特質や表現効果などを感じ取り，作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考える鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。		(1)ア(ウ) イ(ア)
表現	表現中心	P.74～76 アニメーションをつくる	○アニメーションに関心を持ち，撮影方法による印象の違いやアニメーションならではの動きなどから主題を生成する。 ○主題をもとに，形や色，光，構図，動きなどの構想を練る。 ○カメラやコンピュータ等の用具の特性を生かして制作する。 ○完成作品を鑑賞し合い，意図や工夫を感じ取り，話し合う。	さまざまな技法によるアニメーションを知り，撮影のしかたを工夫して作品をつくる。	形や色，材料，光，動きなどが感情にもたらす効果や，造形的な特徴などをもとに，アニメーションを，全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。	意図に応じてカメラやコンピュータ等の用具の特性を生かすとともに，撮影の方法や用いる材料などに，撮影の方法や用いる材料などを工夫し，表現の意図を効果的にあらわしている。	撮影方法による印象の違いやアニメーションならではの動きなどをもとに，映像メディアの特性を生かして表現の主題を生成し，光や視点などの視覚的な要素の働きやコマの動きの変化などについて考え，創造的な表現の構想を練っている。	アニメーションの特質や表現効果などを感じ取り，撮影時の工夫，作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え，見方や感じ方を深めている。	主体的に，撮影方法による印象の違いやアニメーションならではの動きなどをもとにした表現の創造活動に取り組もうとしている。	主体的にアニメーションの特質や表現効果などを感じ取り，作者の意図や撮影の際の工夫などについて考える鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。	(3)ア(ア)(イ) イ(ア)(イ)	(1)ア(ウ)